



Breathe in, and

今西真也
Shinya Imanishi

吸って、吐いて

Breathe out



奈良ゆかりの
現代作家展

01



装置としての絵画 —— 「見えるもの」と「見えないもの」のあいだ

山本雅美（奈良県立美術館学芸員）

奈良県立美術館のギャラリー企画として開催する「奈良ゆかりの現代作家」展は、奈良出身・在住、もしくは地域に関わりのあるアーティストの実践を紹介するものである。初回の企画として取り上げる今西真也は、1990年、奈良県奈良市に生まれ、美術館のそばで育ち、現在もこの地域を拠点に活動するアーティストである。

本展覧会は、今西にとって大学院修了後10年目にして初めて地元・奈良で開催する個展である。2015年に京都造形芸術大学を修了。その後、東京や海外のギャラリーやアートフェア等で発表を重ねる。2020年には若手作家にとっての登竜門である「シェル美術賞」でグランプリを受賞。そのほか種々のコンクールでの受賞や奨学金等の獲得など、現代美術作家として今後が期待される存在である。

そのため今西の作品制作の量も多い。本展覧会は2024年夏ごろに開催が決まり、展示空間にあわせた内容を検討し、新作の制作に取り掛かった。展示している大半の作品はこの半年間で制作されたものだ。ここからは本展に出品された作品を通して今西の芸術の現時点を検討したい。

会場に入ると正面に目にするのは「Holiday cracker」シリーズの新作である。200×120cmの4枚のパネルが、均等に間

をあけて壁面に展示されている。それぞれの絵画は1点の作品として自立しているが、白い壁面に並べられている姿からは、その壁面自体が絵画の支持体となり、4枚のパネルの色面がその空白を埋め、ひとつの大きな絵画に転化する仕掛けになっているように見える。空白というものが、パネルとパネルに挟まれることで、「余白」として立ち上がる。「余白」は、日本美術の伝統として水墨画などに特徴的だが、見る者が自身の想いや経験を通じた想像力でもって頭の中に具体的なイメージを紡ぎだす装置として機能するものである。



「Holiday cracker」シリーズのモチーフは、誕生日のパーティーやクリスマス・パーティーで使われるおもちゃである。手のひらサイズの円錐形のクラッカーの紐をドキドキしながら引っ張った経験のある人も多だろう。力を籠めるその瞬間に、破裂音が鳴り、無数の紙紐が飛び出てくる。その放射状の軌跡をとどめたものが「Holiday cracker」シリーズである。本作品は、下地をぬった画面を床に寝かせて、その上にクラッカーを放ち、その軌跡を絵具で埋めていき、最後に白い絵具で全体を覆う。その上で、クラッカーの紙紐を一気に取り去る、という手順で制作されている。何層にも油絵具を重ねて、見た目にも実際にも重量がありかつ重厚な画面に、クラッカーの紙紐が飛び出す瞬間の軽やかな動きを描いたものである。画面の重厚さと描かれたモチーフの軽さといった両極端さは、見る者にちぐはぐな違和感を生じさせる。

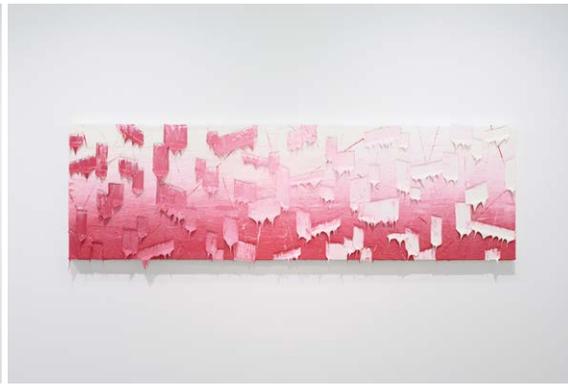
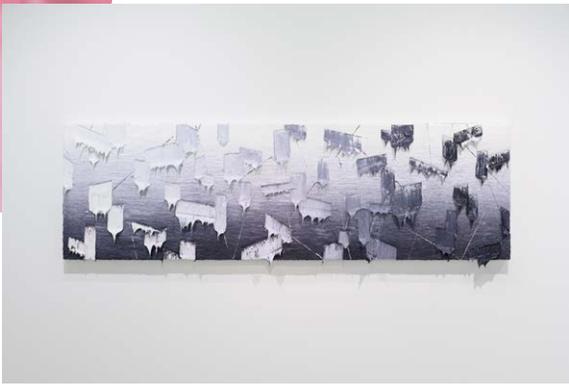
「Holiday cracker」シリーズに描かれた画面の紙紐の動きは、私たちに、その楽しかった瞬間を思い出させる。それは多くの人が共通して持つ記憶である。しかし、見えているものは同じでも、それぞれ見る者の頭の中に浮かぶイメージは違う。



“共通して持つ記憶”は実際にはそれぞれの人にとって個別の体験であるからだ。白い壁面に飾られ余白をまとう《Holiday cracker 46》は、見る者にそれぞれのイメージを喚起させる装置として機能している。

本展では出品されないが、近年取り組んでいる「Mountain





「Landscape」シリーズ（2024年～）も同じ意味を成すものであろう。「人にとって山の形は育ったところの風景を反映している」*と今西は言う。山を描くとき、人は自分の記憶の中にある形を無意識に表現する。たとえば富士山の形だったり、盆地の先に見える山の連なりの形だったり。このシリーズでは、今西自身の経験から紡ぎ出される形を描くことだけでなく、他者の山の形を取材して描くことにも取り組んでいる。誰でも共通して持つイメージの、その差異に注目することで、「見えるもの」から「見えないもの」を取り出していく装置としての絵画作品を作り出しているのである。本シリーズは始まったばかりであるが、他者の「山の形」を取り入れて行くことで、多様な文化や自然といった風土的背景を持つ人々のイメージが「見えるもの」として描かれることになり、見る者はそれらをきっかけに自身の「見えないもの」、つまり自分の頭の中で作り上げられるイメージを受け取ることになるであろう。

このように、今西の作品は、油絵具とパネルという絵画としてのオーソドックスな形式を取りながらも、モチーフの選択によって見る者の頭の中に絵画空間を増殖させる装置として機能している。その存在は「見えるもの」と「見えないもの」のあいだを行き来している。

最後に、今回、地元・奈良で展覧会を行うにあたり、今西はこの土地が自身の芸術に与えた影響について深く考えたと言っている。「奈良の墨の文化からくる色彩感覚、春日山の霧が見えないものへの想像力を喚起させる。街のなかに“なんだろう”と思うきっかけがある。それは土地が作り上げた歴史から生まれている。」*

奈良という土地の文化や自然を幼い頃から身近に感じて育ってきた感性が、「見えるもの」と「見えないもの」のあいだを行き来する表現に見て取れる。私たちは「吸って、吐いて」と題された本展覧会で、今西がこの地域から得たものを芸術という形で吐き出したものとして体感できるであろう。

*筆者によるインタビュー 2024年12月21日(日)





今西真也 Shinya Imanishi

1990年奈良県生まれ。現在奈良県在住。

学歴

2015 京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻 ペインティング領域 修了

個展

- 2025 吸って、吐いて (奈良県立美術館ギャラリー、奈良)
- 2024 あした、しらない、いき (MOMENT Contemporary Art Center、奈良)
- 2024 キラキラと曖昧 (nca | nichido contemporary art / 東京、日本)
- 2023 GLIMMERING (THE BRIDGE / 大阪、日本)
- 2023 今西真也 anonymous collection (ZeroBase 神宮前 / 東京、日本)
- 2021 かーかかー (nca | nichido contemporary art / 東京、日本)
- 2021 羊羹とクリーム (Bijuu ギャラリースペース / 京都、日本)
- 2020 Shinya Imanishi : Light Exposed (galerie nichido Taipei / 台北、台湾)
- 2018 Wind, Rain, and your Words (Art Delight / ソウル、韓国)
- 2017 ISANATORI (nca | nichido contemporary art / 東京、日本)

グループ展

- 2024 2023年度 新収藏品展 (豊田市美術館 / 愛知、日本)
- 2023 カンサイボイス Vol.2 (nca | nichido contemporary art / 東京、日本)
- 2022 ヤンオカ vol.2 (MtK Contemporary Art / 京都、日本)
- 2020 カンサイボイス - A journey through painting today (nca | nichido contemporary art / 東京、日本)
- 2019 シェル美術賞展 (国立新美術館 / 東京、日本)
- 2019 Kyoto Art Tomorrow 2019 - 京都府新鋭選抜展 (京都文化博物館 本館 / 京都、日本)
- 2018 ARTISTS' FAIR KYOTO (京都文化博物館 別館 / 京都、日本)
- 2018 大鬼の住む島 (WAITINGROOM / 東京、日本)
- 2018 ARTISTS' FAIR KYOTO (京都文化博物館 別館 / 京都、日本)
- 2017 日台文化交流展 覧会マイ・コレクション 展感性の寄港地 (群馬青年ビエンナーレ 2017 (群馬県立近代美術館 / 群馬、日本)
- 2017 一キュレーター - 長谷川裕子 (T-ART GALLERY / 東京、日本)
- 2015 echo of the echoes 展 (西武渋谷店 / 東京、日本)
- 2015 京都造形芸術大学大学院修了制作展 (京都造形芸術大学 / 京都、日本)

受賞・奨学歴

- 2023 Anonymous Collection Award 受賞
- 2022 公益財団法人松浦芸術文化財団 令和4年度現代芸術家助成
- 2020 シェル美術賞2020 グランプリ受賞
- 2019 Kyoto Art Tomorrow 2019 - 京都府新鋭選抜展 大賞
- 2017 群馬青年ビエンナーレ2017 入選
- 2016 第31回ホルベインスカラシッ奨学生
- 2015 京都造形芸術大学大学院修了展 大学院賞

コレクション

- 豊田市美術館
- 大林組
- anonymous art project
- UESHIMA COLLECTION
- 他 プライベートコレクション





奈良ゆかりの現代作家展 01
今西真也「吸って、吐いて」

2025年1月18日(土) - 2月16日(日)
会場：奈良県立美術館 ギャラリー
主催：奈良県立美術館 / 協賛：株式会社メルコグループ / 協力：東洋アルミニウム株式会社

撮影：大河原光
デザイン：竹内敦子 (XS)
発行：奈良県立美術館 / 発行日：2025年2月1日

